

ドイツ語

【German】

担当責任者 非常勤講師 進藤 良太

ねらい

他者、異文化との円滑なコミュニケーションのために他言語への理解は欠かせない。
本授業では、ドイツ語を「読み、聞き、話し、書く」能力の習熟を通して、
自分たちの学んできた言語、そして言語一般を相対化して見つめる眼差しを養う。

学修目標

1. ドイツ語を正しく発音することが出来る。
2. 基礎的な文法を理解することが出来る。
3. 独和辞書を用いて、短い文章を自力で読解出来る。
4. ドイツ語で自身の考えを発言することが出来る。
5. 慣れ親しんだ日本語・英語に加えて、なぜ大学で第二外国語を学ぶのか、その意義を考えることが出来る。

事前事後学習の方法

1. 事前学習:特になし
2. 事後学習:学習した課の内容を確認する

成績評価方法・基準

課題提出(40%)、定期試験(60%)で評価し、100点中60点以上を合格とする。
ただし、授業への積極的な参加態度に欠ける場合には減点の可能性あり。

○ 教 科 書

“System 15 Neu-Deutsche Grammatik”

出版社:同学社

著者:西本美彦、Nishimoto, Angelika、高田博行

ISBN 97-4-8102-0881-8

『アポロン独和辞典 第4版』

出版社:同学社

編集執筆:根本道也 他

ISBN:978-4-8102-0007-2

○ 参 考 書

○ そ の 他

受講希望者が合計で50名を超えた場合には担当教員による選抜を行う。

(学期途中(特に後期中)から授業に参加しなくなったり、履修取消をする学生が大変多く見られるので、通年で授業を受講する意思を持った学生のみ履修登録をすること。該当学生が出た場合は翌年度以降の受講定員数を減らす措置を取る。)

1 年 次

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.10	木	3・4	ドイツ語のAlphabet、発音	A	3	1		進藤 良太(学外)
4.17	木	3・4	ドイツ語のAlphabet、発音	A	3	1		進藤 良太(学外)
4.24	木	3・4	ドイツ語のAlphabet、発音	A	3	1		進藤 良太(学外)
5.1	木	3・4	System1 現在人称変化 I	A	3	1		進藤 良太(学外)
5.8	木	3・4	System1 現在人称変化 I	A	3	1		進藤 良太(学外)
5.15	木	3・4	System2 定冠詞と名詞・複数形	A	3	1		進藤 良太(学外)
5.22	木	3・4	System3 不定冠詞と冠詞類・並列接続詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
5.29	木	3・4	System1~3 復習	A	3	1		進藤 良太(学外)
6.5	木	3・4	System4 現在人称変化 II・命令形	A	3	1		進藤 良太(学外)
6.12	木	3・4	System5 人称代名詞・前置詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
6.19	木	3・4	System5 人称代名詞・前置詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
6.26	木	3・4	System6 形容詞の格変化	A	3	1		進藤 良太(学外)
7.3	木	3・4	期末テスト	A	3	1		進藤 良太(学外)
10.2	木	3・4	System7 動詞の3基本形・過去人称変化	A	3	1		進藤 良太(学外)
10.9	木	3・4	System8 完了形・比較変化	A	3	1		進藤 良太(学外)
10.16	木	3・4	System8 完了形・比較変化	A	3	1		進藤 良太(学外)
10.23	木	3・4	System9 話法の助動詞・未来形・従属接続詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
10.30	木	3・4	System9 話法の助動詞・未来形・従属接続詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
11.6	木	3・4	System10 分離動詞・zu不定詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
11.13	木	3・4	System11 再帰動詞・分詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
11.20	木	3・4	System12 指示代名詞・関係代名詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
12.11	木	3・4	System13 受動態	A	3	1		進藤 良太(学外)
12.18	木	3・4	System14,15 接続法	A	3	1		進藤 良太(学外)
R8.1.8	木	3・4	期末テスト	A	3	1		進藤 良太(学外)